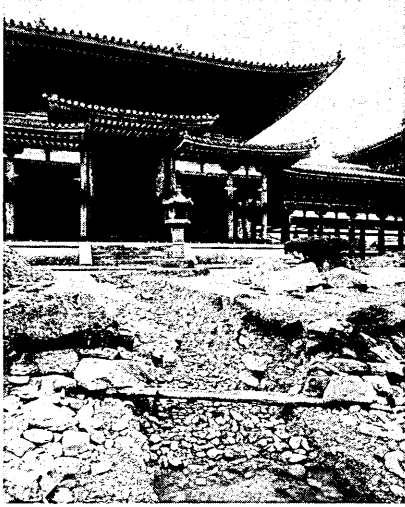


市の人口	
(平成4年1月1日現在)	
世帯数	59,963世帯 (前月比60世帯増)
人口	179,609人 (前月比198人増)
男	89,040人
女	90,569人

宇治市政だより

1/21
平成4年
(1992年)
第942号

発行 京都府宇治市
〒611 京都府宇治市
宇治琵琶33番地
電話 (0774)22-3141
編集 広 報 課
●毎月1日・11日・21日発行



▲平等院阿彌陀堂前から出土した洲浜 (昨年の発掘調査で)

考古遺物でみる 宇治の歴史と文化

歴史資料館 企画展

2月1日(土)～4月12日(日)、入場無料
月曜・祝日休館 歴史資料館 折居台1-1
☎ 20・1311



▲出土した平安時代の軒丸瓦と軒平瓦

▲出た七つ平安時代の

最新成果を合む160点を展示

歴史資料館では、二月一日(土)から、宇治市内で出土した考古遺物を「うつつわ」「戦い」などの用途別にまとめ、年代順に構成・展示した企画展を開催します。近年発掘された平等院や浄妙寺跡からの出土品や旧石器時代のナイフ形石器など、最新の成果を加え、また、庶民が日常の暮らしで使っていたうつつわ類なども展示します。これらを通して、ぜひ宇治の歴史と文化に触れてください。

岸を緩やかな急斜面に、玉石が多数並んで、水辺の景観を彩る趣向がみえます。つまり、かつては、池から周囲に降り向かう緩やかな斜面が続き、水際を緩やかな曲線を描いていたことが明らかになったのです。

▲出た七つ平安時代の軒丸瓦と軒平瓦

▲出た七つ平安時代の軒丸瓦と軒平瓦

▲出た七つ平安時代の軒丸瓦と軒平瓦

▲出た七つ平安時代の軒丸瓦と軒平瓦

第17回歴史サロンの 埋蔵文化財の保存科学

考古遺物は、出土した瞬間から劣化が始まります。特に木製品は、化学的な劣化処理が必要で、二子山出土の埋蔵文化財の処理が行われました。日没後、埋蔵文化財の保存科学の現場を見ていただきます。

▲埋蔵文化財の保存科学

「宇治三子山古墳とその時代」発売中

宇治三子山をテーマにした古墳(宇治本)は、古墳時代の中核。宇治遺跡を見下ろす山に築かれた二基の古墳です。

▲出土した鉄製のようい

▲出土した鉄製のようい

展示構成と主な展示品

1. 人類のあけはら先石器時代ナイフ形石器、剥片
2. 狩りと採集の時代ー縄文時代ー浅鉢、深鉢、石斧(せき)、石のおの、石鏡(せき)、石のやじり、寺野遺跡(五ヶ庄寺野遺跡)

▲寺野遺跡跡から出土した縄文土器(深鉢)

▲寺野遺跡跡から出土した縄文土器(深鉢)

1/26(日)
文化センター大ホール
午後1時開演 全自由席
前売り券発売中

一般 2,500円
高校生 1,500円
(当日各300円増)

出演 桂文珍 桂楽珍 桂珍念

桂文珍 独演会

新春喜話 独演会

桂文珍 桂楽珍 桂珍念

高齢者生活実践発表会と講演会

＜1月25日(土)、文化センター大ホールで＞

高齢者を楽しく、高齢期をこう生きる。

高齢者生活実践発表会と講演会

